

## 令和2年度第3回我孫子市総合教育会議 概 要

- 件 名／令和2年度 第3回我孫子市総合教育会議
- 日 時／令和3年3月25日（木）16：00～17：10
- 場 所／教育委員会 大会議室
- 出席者／星野市長、倉部教育長、長谷川教育委員、足立教育委員、蒲田教育委員、村松教育委員、廣瀬総務部長、丸教育総務部長、木下生涯学習部長  
（教育総務課）森田課長、尾高主査  
（指導課）戸塚課長、  
（学校教育課）鈴木課長  
（秘書広報課）飯田参事、高見澤主幹
- 傍聴人／なし
- 協議・調整事項

### 1. 布佐中学校区「学校の適正規模に係るアンケート」集計結果（速報値）について

布佐中学校区（布佐小・布佐南小・布佐中）の保護者、地域の住民（自治会長や班長、民生委員等）、学校関係者（学校評議員やボランティア等）及び学校職員を対象に12月から1月にかけて実施した「学校の適正規模に係るアンケート」の集計結果（速報値）について、事務局（教育委員会／学校教育課）から説明後、意見交換を行った。

（意見交換）

- ・ 一体型の小中一貫校が設置された場合、現在の布佐南小学区からでは通学の距離が長くなり、安全確保の面での不安や通学手段としてスクールバスを運行できないかなど、市政へのご意見もいただいている。アンケートでもわかるように通学についての心配が大きいことから、そこは慎重に考えていく必要がある。
- ・ 環境変化に伴う子どもへの影響も心配な点として多く挙げられている。子どもの数は昔と大きく違っており、子どもたちにとってより良い環境を整えてあげなければならないと考えている。
- ・ 布佐小・布佐南小・布佐中それぞれの保護者に話を聞いてみると、何故、

急にこのようなアンケートを実施することになったのか理解されていないということを感じた。

- ・ 布佐南小の保護者は、やはり通学距離の問題が大きいと考えており、徒歩通学なのか、スクールバスは使われるのかなど不安を抱いている。
- ・ 小中一貫校の設置は、先々のことを考えれば進めていく必要があると思っている。アンケートの心配な点に挙げられている「環境変化に伴う子どもたちへの影響」とは具体的にどんな内容なのか。
- ・ 小中一貫教育は1年生から9年生までとなり、年齢差が大きくなることから、いじめなどに繋がらないかという意見が多いように思える。
- ・ このアンケートは、まず保護者などへの説明会を開催した後に実施する予定であったが、説明会が開けずアンケートを先行したことによって、「環境の変化に伴う子どもたちへの影響」という点に心配事が集まってしまったと捉えている。
- ・ 今後は、その心配な点として出された意見に対し、一つひとつ丁寧に説明していくべきではないか。
- ・ 市の考え方をしっかり説明したうえで、安全対策や施設規模などを示していけば、保護者や地域の皆さんに理解が得られるのではないか。
- ・ 保護者も1年生から9年生を経験したことがなく、抵抗があるのだと思う。小中一貫教育のメリットなど丁寧に説明を重ねていけば、賛成意見も増えてくるのではないか。
- ・ 小中一貫校については、新型コロナウイルス感染症の影響もあるので、まずは教育委員会を中心に、先進地（つくば市や流山市、品川区など）を視察したうえで比較検討していただきたい。そのうえで、是非ここを見てほしいという学校をPTAや保護者にも拡げてほしい。
- ・ 視察については、なるべく小学校2校、中学校1校の我孫子市と同一の規模や条件を踏まえて選定したいと思っており市川市、つくば市、成田市などを考えている。
- ・ 視察先については、新型コロナウイルス感染症の状況を見つつ、考えてほしい。
- ・ 現在ある市内の小中学校19校を全て単独で経営していくことは将来的に難しい。しかし6つの中学校区にまとめてしまうという考え方ではなく、今後も柔軟に検討していきたいと思っている。

## ■その他

次の項目に関し、情報提供を行った。

### ◎新型コロナウイルスワクチン接種について

ファイザー社のワクチンは16歳未満は接種できない。またアストラゼネカ社とモデルナ社のワクチンは薬事承認されていない。今後も子どもたちへの接種に対する情報を市としてしっかり押さえていきたい。

◎適応指導教室「ヤング手賀沼」と教育総務部教育研究所の名称が分かりづらいうという声を耳にしているので、教育委員会で名称変更について検討してほしい。